

公益財団法人 実務技能検定協会

令和2年度事業計画書

I 全般

1 目的及び事業

本協会は、ビジネス実務に関する資質、知識、技能などの能力について審査を行い、等級を評価することにより、ビジネス実務に対する学習意欲の喚起、職業教育の充実、及び職業人の職業技能の向上に寄与することを目的として、以下の事業を行う。

・公益目的事業（公1）

- (1) 秘書技能、ビジネス文書技能、ビジネス実務マナー技能、サービス接遇実務、及びビジネス電話実務並びにその他ビジネス実務に関する技能検定の実施
- (2) 合格者の登録並びに合格証及び合格証明書の発行
- (3) 実務技能審査事業の普及、啓発

・収益事業（収1）

出版物（ビジネス系検定受験参考書）の監修及び著作権の提供

2 成績優秀合格者・優秀団体の表彰（文部科学大臣賞、実務技能検定協会優秀賞等）

令和2年度表彰式実施予定日 令和3年3月12日（金）

（会場 アルカディア市ヶ谷）

3 ビジネス電話実務検定の廃止およびビジネス実務マナー技能検定のリニューアル

- (1) 本年度第2回実践級試験の終了をもってビジネス電話実務検定を廃止する。
- (2) 同検定の内容を取り入れてリニューアルを行ったビジネス実務マナー技能検定を実施する。

4 サービス接遇実務検定の第3回試験の実施

サービス接遇実務検定の受験機会を増やすため、令和3年2月期に第3回検定（本年度は2級団体受験のみ）を実施する。

5 「願書受付特約書店制度」の見直し

書店受付は募集効率が悪いとため、「願書受付特約書店制度」を廃止し、「特約受験」（願書の取りまとめのみ行う団体）方式へと移行する。

【個人受験者受付の推移】

	（書店受付）	（web受付）	（その他）	（全体）
平成22年	58,409件（50.8%）	43,999件（38.3%）	12,518件（10.9%）	114,926件
平成26年	15,790件（17.8%）	62,558件（70.3%）	10,624件（11.9%）	88,972件
平成30年	<u>3,538件（3.9%）</u>	74,146件（80.9%）	13,938件（15.2%）	91,622件

II 公益目的事業（公1）事業計画

1 令和2年度秘書技能検定事業計画

(1) 試験の級位及び受験料（消費税込み）

1級 6,500円 準1級 5,300円 2級 4,100円
3級 2,800円

(2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 令和2年6月13日(土)または14日(日) 1～3級実施
(願書受付 4月8日(水)～5月13日(水))

第2回 令和2年11月14日(土)または15日(日) 1～3級実施
(願書受付 9月2日(水)～10月14日(水))

第3回 令和3年2月6日(土)または7日(日) 2・3級のみ実施
(願書受付 12月7日(月)～1月12日(火))

(3) 面接試験（1級・準1級の二次試験）

1級 ① 第1回 全国延べ13カ所で実施予定

② 第2回 全国延べ14カ所で実施予定

準1級 ① 第1回 全国延べ21カ所で実施予定

② 第2回 全国延べ21カ所で実施予定

筆記試験免除 1級・準1級とも、初回の面接試験に不合格の場合、次回・次々回の筆記試験が免除される。

(4) 試験の範囲と程度 「秘書技能審査基準」による。

(5) 試験実施会場

本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回とも130会場を予定

準会場（団体受験者のみの会場） 各回とも750会場を予定

(6) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。

個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(7) 令和2年度志願者数見積

級位	令和2年度計画数
1級	2,350名
準1級	10,000名
2級	76,200名
3級	39,500名
合計	128,050名

(8) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区（札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇）で開催する。
- ④ 準1級の面接試験担当者（審査員・係員）の研修を行う。
- ⑤ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

2 令和2年度ビジネス文書技能検定事業計画

(1) 試験の級位及び受験料（消費税込み）

1級 5,800円 2級 4,100円 3級 2,800円

(2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 令和2年6月28日(日) 1～3級実施
(願書受付 4月8日(水)～5月25日(月))

第2回 令和2年11月29日(日) 1～3級実施
(願書受付 9月2日(水)～10月26日(月))

(3) 試験の範囲と程度 「ビジネス文書技能審査基準」による。

(4) 試験実施会場

本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回20会場を予定
準会場（団体受験者のみの会場） 各回110会場を予定

(5) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。
個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(6) 令和2年度志願者数見積

級 位	令和2年度計画数
1 級	680名
2 級	3,040名
3 級	5,940名
合 計	9,660名

(7) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。

- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区（札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇）で開催する。
- ④ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

3 令和2年度ビジネス実務マナー技能検定事業計画

- (1) 試験の級位及び受験料（消費税込み）
1級 6,500円 2級 4,100円 3級 2,800円
- (2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）
第1回 令和2年6月21日（日） 1～3級実施
（願書受付 4月8日（水）～5月18日（月））
第2回 令和2年11月22日（日） 1～3級実施
（願書受付 9月2日（水）～10月19日（月））
- (3) 1級面接試験（二次試験）
第1回 全国8カ所で実施予定
第2回 全国8カ所で実施予定
筆記試験免除 初回の面接試験に不合格の場合、次回・次々回の筆記試験が免除される。
- (4) 試験の範囲と程度 「ビジネス実務マナー技能審査基準」による。
- (5) 試験実施会場
本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回15会場を予定
準会場（団体受験者のみの会場） 各回160会場を予定
- (6) 受験手続
団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。
個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。
- (7) 令和2年度志願者数見積

級 位	令和2年度計画数
1 級	170名
2 級	2,950名
3 級	6,030名
合 計	9,150名

(8) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区(札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇)で開催する。
- ④ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

4 令和2年度サービス接遇実務検定事業計画

(1) 試験の級位および受験料（消費税込み）

1級 6,500円 準1級 4,700円 2級 3,900円
3級 2,700円

(2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 令和2年6月7日（日）1・2・3級実施（準1級は面接試験のみ実施）
（願書受付 4月8日（水）～5月11日（月））

第2回 令和2年11月8日（日）1・2・3級実施（準1級は面接試験のみ実施）
（願書受付 9月2日（水）～10月5日（月））

第3回 令和3年2月14日（日）団体受験の2級のみ実施
（願書受付 12月7日（月）～1月18日（月））

(3) 面接試験（1級は二次試験として実施）

1級 ① 第1回 全国延べ10カ所で実施予定

② 第2回 全国延べ10カ所で実施予定

準1級 ① 第1回 全国延べ15カ所で実施予定

② 第2回 全国延べ16カ所で実施予定

筆記試験免除 初回の面接試験に不合格の場合、次回・次々回の筆記試験が免除される（1級のみ）。

(4) 試験の範囲と程度 「サービス接遇実務審査基準」による。

(5) 試験実施会場

本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回30会場を予定

準会場（団体受験者のみの会場） 各回460会場を予定

(6) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。

個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(7) 令和2年度志願者数見積

級 位	令和2年度計画数
1 級	1, 100名
準1級	6, 600名
2 級	21, 000名
3 級	20, 000名
合 計	48, 700名

(8) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区（札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇）で開催する。
- ④ 準1級の面接試験担当者（審査員・係員）の研修を行う。
- ⑤ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

5 令和2年度ビジネス電話実務検定事業計画

(1) 試験の級位及び受験料（消費税込み）

実践級 4, 700円

※令和元年度までの「知識A級」合格者を対象に実施。

※筆記試験（知識A級・知識B級）は令和元年度をもって終了。

(2) 試験実施日・試験地（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 5月31日（日）東京・広島

6月 7日（日）名古屋

6月21日（日）福岡・那覇

6月28日（日）大阪

7月12日（日）札幌

（願書受付 3月6日（金）～4月7日（火））

第2回 10月25日（日）福岡

11月 1日（日）東京

11月 8日（日）大阪

11月22日（日）鹿児島

（願書受付 8月17日（月）～9月4日（金））

(3) 試験の範囲と程度 「ビジネス電話実務審査基準」による。

(4) 受験手続

団体受験 なし

個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(7) 令和2年度志願者数見積

級 位	令和2年度計画数
実 践 級	340名
合 計	340名

(8) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 実践級成績優秀者の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区(札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇)で開催する。
- ④ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

Ⅲ 収益事業（収1）事業計画

1 実務技能検定に関する問題著作権の提供等

趣旨・事業の内容

ビジネス実務に関する知識・技能は、学校教育では身に付ける機会が少なく、学習者にとっては学習の手段が不可欠である。学習者が効率的に知識や技能を習得するためには、一定の基準（各検定の「審査基準」）に基づいて解説された学習参考書での学習と、その習熟度を測るために各検定の「審査基準」に基づいて出題された過去の問題（実問題）への取り組みなどが適当な学習方法となる。

出版事業を行っていない当法人としては、学習者のニーズに応え学習の支援を行うために、出版社等に実問題の著作権を有償で広く提供するとともに、要請があれば各検定試験に関する学習参考書等の監修業務を受託する。

以上